

4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全

○歴史が息づく古都の町並み

京都の市街地：東西南北に延びる道路が碁盤目のように交差
→平安京の道路網が現在まで引き継がれている

京都と奈良：8世紀以降、平安京や平城京の都が置かれる
→政治や文化の中心であったことから、「古都」とよばれる

清水寺や東大寺が世界遺産に登録される
重要文化財に指定された建物や絵画、彫刻などが残る
にしじんおり
西陣織などの(伝統的工芸品 ☆)の生産が盛ん
ぎ おんまつり
祇園祭などの伝統文化が息づく
→多くの観光客が訪れ、外国人観光客も急増

○古都の景観の保全に向けて

京都と奈良：第二次大戦中の被害が少なく、伝統的な街並みが残る
→高層の建物が建設され、歴史的景観がしだいに失われつつある
→古都の歴史と伝統を後世に受け継ぐための取り組みが行われる
例) 京都市：建物の高さやデザインを整える、電線を地中に埋めるなど
奈良市：伝統的な外観は保ち、建物の内部を改装して利用